



医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信 第53号



平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。

2017年ももう終わります。皆さんはどんな1年になりましたか？

今年も流行語大賞が発表になりましたね。「忖度」「インスタ映え」が大賞。トッペンも「Jアラート」「プレミアムフライデー」「OOファースト」「魔の2回生」などすっかり聞きなれた言葉ばかりでした。トッペンを逃した言葉にも「ワンオペ育児」「ユーチューバー」「働き方改革」「ちーがーうーだーろー」などなど・・・今年は流行語の豊作の年だったのですね。

今年も 医療福祉・在宅看取りの地域創造会議にご協力いただきありがとうございました。2018年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

第60回ワーキング会議 (12/21)

草津市まちづくりセンター



初参加9名を含む 34名で行いました。

〈参加職種：医師・看護師・保健師・薬剤師・社会福祉士・介護支援専門員・鍼灸師・医薬品メーカー勤務・行政など〉

話題提供を受けての感想、我がまちの在宅医療の状況、気になったこと など



〈こなん在宅看取り医療安心ネットワーク〉

ここから始まる。手と手がつながる。

訪問診療医どうしが、ゆるやかなつながりのなかで

互いに助け合うネットワークが必要

- ・「自転車操業的に在宅医療や看取りに対応している」と（資料より抜粋）
目の前の課題を処理していくことも前進していくという点では大事なことだと思う。
- ・自宅での看取りを希望している人が最期、病院で亡くなられたとしてもその直前まで本人の希望にそって、医師や看護スタッフなどに助けてもらいながら自宅で過ごせたのであれば本人の意思に沿ったということではないのか。
- ・診療所の数が多いとまとまりにくいから湖南市はちょうどいいのではないのか。
- ・大きな市ではまとまりにくいのであれば小さなグループ（中学校区単位など）でもできるのではないのか？
- ・高齢者医療だけでなく 障害者の在宅医療についてはまだ進んでいないと思う。
- ・長崎市ではNPOが同じような取り組みをしている（情報提供）
- ・「こなん在宅医療安心ネットワーク」の会議を市がバックアップしていることが大きい。
- ・情報交換できる場があることが顔を見える関係・相互協力につながっている。
- ・「ゆるやかなつながり」がよかったのではないのか。
- ・診療所の各先生のペースでやってもらえているのがよかったのではないのか。
- ・今後は病院とのつながりがもっとあってもいいのではないのか。



次第

- ☆18:30～ あいさつ
- 18:35～ 自己紹介
- 18:45～ テーマ

「こなん在宅医療安心ネットワークの取り組みについて」
話題提供者 湖南市 健康福祉部高齢福祉課
グループワーク・発表



次回のワーキンググループ会議

第61回ワーキンググループ会議

日時：平成30年1月25日（木） 18:30-20:00

場所：滋賀県庁 北新館 3階 中会議室

●話題提供「はなちゃん薬局開設に至るまでの経過や思い
～現在の重症心身障害児たちの現状と
取り巻く社会について～」

話題提供者：はなちゃん薬局 開設者 山岡玄馬さん

今後の予定

日時：平成30年2月22日（木） 18:30-20:00

場所：滋賀県庁 北新館 3階 中会議室

「臨床宗教師の役割とは～多死社会のなかで穏やかな死を迎えるために～」

話題提供者：沼口医院アミターバ 臨床宗教師

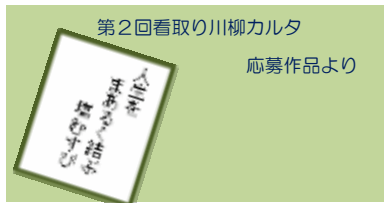
野々目 月泉さん

2017年 総会・フォーラム



第2回看取り川柳カルタ

応募作品より



医療福祉・在宅看取りの地域創造会議運営事務局
(滋賀県庁 医療福祉推進課内)

貝沼・橋本

TEL077-528-3529 FAX:077-528-4851

E-mail:info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp

